

第7章 計画の推進

1 推進体制

本市が目指す環境像「自然と人とが共生し 未来につなぐ環境を みんなで育てまもるまち・春日部」の実現を目的として、本計画の実効性を高めながら、計画を着実に推進していくための必要な体制の整備を行います。

本計画は、市民・事業者・市が、互いの役割を理解し、協働して推進していきます。

(1) 環境対策推進会議

市は、本計画における施策の推進にあたり、庁内に「環境対策推進会議」を組織し、関係部署間の調整や情報共有を図ります。

「環境対策推進会議」は、市の事務事業全般から排出される温室効果ガス排出量削減のための計画も所掌^{しよしょう}しています。

(2) 環境審議会

「環境審議会」は、環境の保全及び創造に関して、基本的事項の調査及び審議をするための諮問機関として設置されています。学識経験者、市内各種団体を代表する者、公募による市民で構成されており、本計画の専門的かつ広範囲にわたる審議や環境行政への答申、助言等を行います。

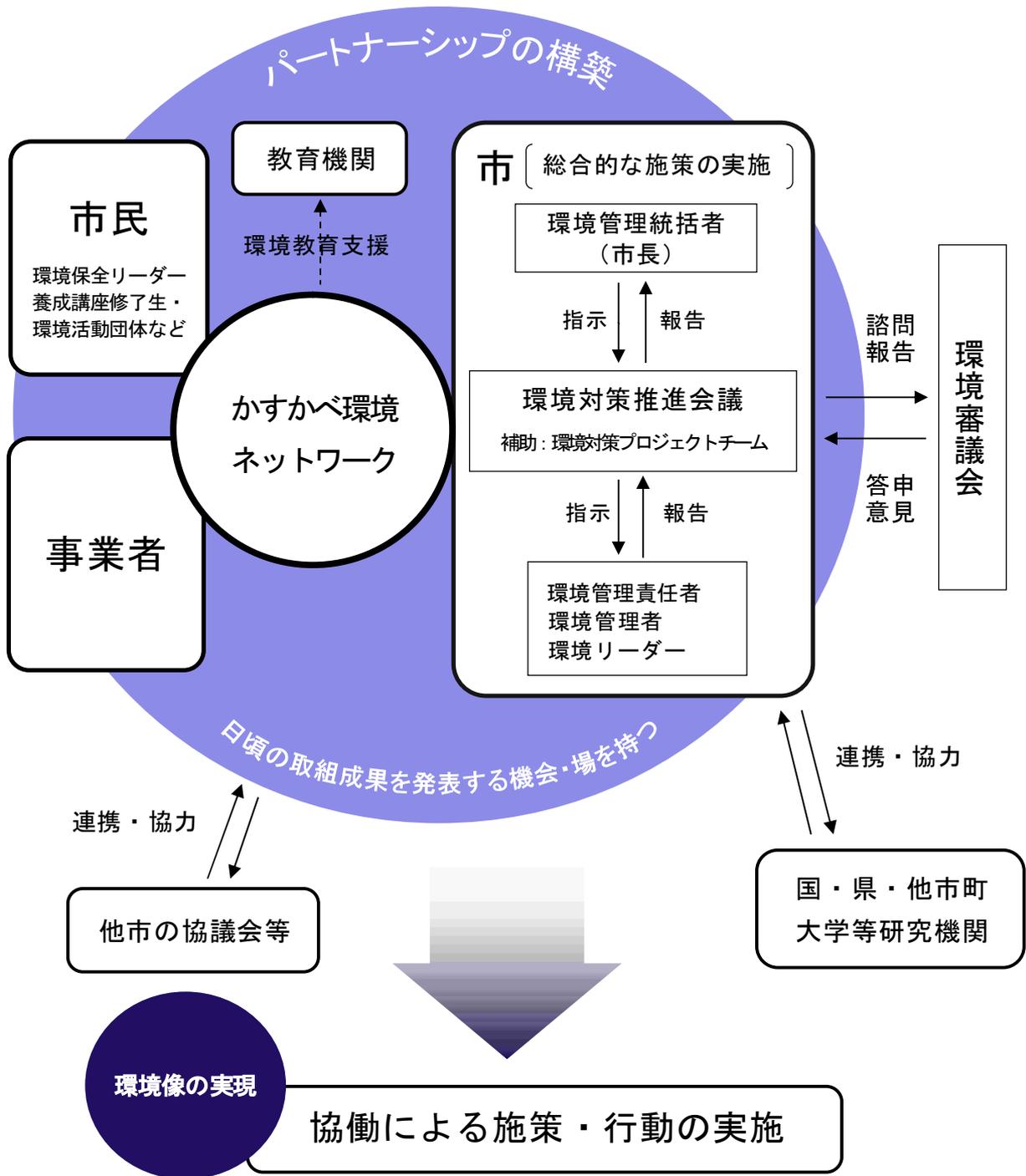
(3) かすかべ環境ネットワーク

本市の目指す環境像を実現するためには、市民・事業者・市が、協働して取組を推進することが重要です。各主体が取り組んでいる環境保全活動や地球温暖化対策を結び付け、地域に根差した環境活動を推進していきます。

かすかべ環境ネットワークでは、各主体が責任ある活動を進めていくとともに、市民・事業者・市のネットワークを生かし、活動内容を市内外に広め、活動に参加する仲間を増やします。

〔かすかべ環境ネットワークの主な活動〕

- ・環境月間イベント、環境フォーラム
- ・環境保全活動の交流、成果発表
- ・環境コミュニケーション
- ・生き物環境調査



図表 7-1：本計画推進体制の概念

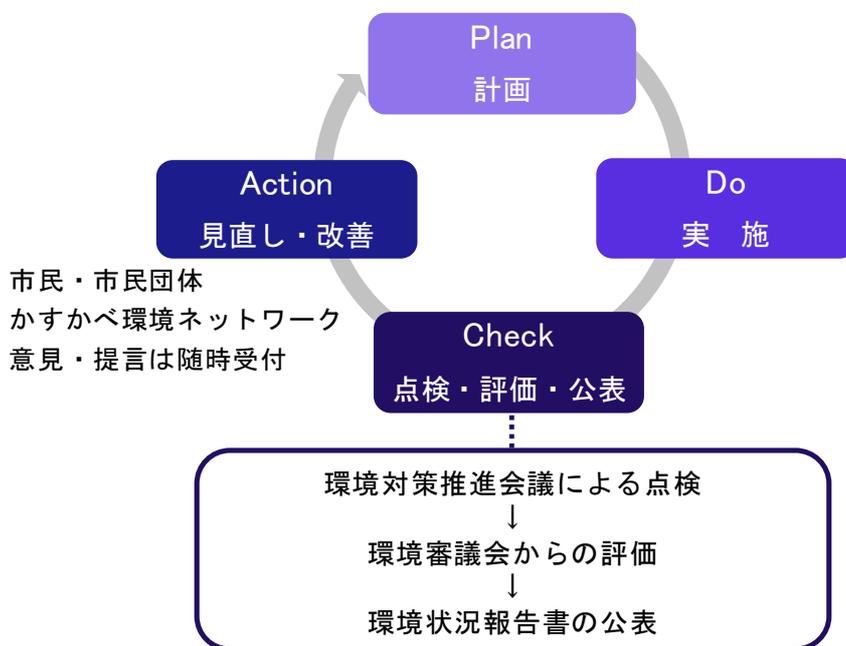
2 進行管理

(1) PDCA サイクル

「Plan (計画)」「Do (実施)」「Check (点検・評価・公表)」「Action (見直し・改善)」という PDCA サイクルを基本とします。

特に、Check (点検・評価・公表) の段階においては、施策や事業の進捗状況について市内の「環境対策推進会議」による自主的な「点検」を実施したのち、「環境審議会」からは、専門的見地からの「評価」を受け、結果は環境状況報告書とし、広く「公表」していきます。

随時、市民や「かすかべ環境ネットワーク」から意見を募集し、環境施策の継続的な見直し改善に取り入れていきます。



図表 7-2 : PDCA サイクル

(2) 環境状況報告書「春日部市の環境（環境白書）」

「春日部市環境基本条例」に基づき、本市の大気や水、生活、緑や地域等の環境の状況、並びに環境の保全及び創造に関する施策の実施状況を、「春日部市の環境（環境白書）」を作成し公表していきます。

(3) 計画の見直し

本計画の見直し・更新の必要性については、環境施策の進捗状況をもとに、市及び「環境対策推進会議」による「点検」、「環境審議会」による「評価」、市民及び「かすかべ環境ネットワーク」の意見等を踏まえた PDCA サイクルの評価に基づいて判断します。

本計画の計画期間は 10 年間としていますが、判断結果を考慮し、実効性と効果的な推進を図るため、5 年後に中間見直しを実施し、環境をめぐる社会情勢の変化や技術の進歩などについても反映を行いました。

3 環境指標一覧

基本施策ごとに環境指標を下記のとおり設定します。環境指標は、春日部市が掲げた環境像の実現に向けて設定した数値目標です。併せて、「みんなで取り組む春日部市地球温暖化対策実行計画」の温室効果ガス排出量についても削減目標を設定します。

これらの環境指標に基づき、計画の進捗状況の把握、進行管理を行うため、毎年度、取組の状況を検証します。

基本目標 1



快適で、澄んだ空気・きれいな水、安全なまちの実現

基本施策	環境指標	当初値 2016年度 (平成28年度)	現状値 2021年度 (令和3年度)	目標値 2027年度 (令和9年度)
(1) 地域環境 の保全	二酸化硫黄 (SO ₂)			
	1時間値の最高値	0.021ppm	0.005ppm	0.1ppm 以下
	日平均値の最高値	0.005ppm	0.002ppm	0.04ppm 以下
	日平均値の2%除外値	0.002ppm	0.002ppm	0.04ppm 以下
	二酸化窒素 (NO ₂) 日平均値の年間98%値	0.029ppm	0.027ppm	0.06ppm 以下
	光化学オキシダント 昼間の1時間値が 0.06ppmを超えた時間数	369時間	374時間	0時間
	浮遊粒子状物質 (SPM)			
	1時間値の最高値	0.095mg/m ³	0.087mg/m ³	0.20mg/m ³ 以下
	日平均値の最高値	0.053mg/m ³	0.046mg/m ³	0.10mg/m ³ 以下
	日平均値の2%除外値	0.042mg/m ³	0.028mg/m ³	0.10mg/m ³ 以下
	微小粒子状物質 (PM _{2.5})			
	日平均値の年間98%値	33.8μg/m ³	24.2μg/m ³	35μg/m ³ 以下
	年平均値	14.0μg/m ³	10.6μg/m ³	15μg/m ³ 以下
	河川水質 (BOD) 75%水質値 環境基準適合率	100%	91%	100%
	下水道整備率	95.7%	99.02%	100%
	下水道区域内の下水道による 水洗化率	94.5%	97.07%	96.7%
	污水处理人口普及率	97.5%	98.00%	99.9%

基本施策	環境指標	当初値 2016年度 (平成28年度)	現状値 2021年度 (令和3年度)	目標値 2027年度 (令和9年度)
(1) 地域環境 の保全	自動車騒音 面的評価 環境基準適合率	96.0%	94.9%	100%
	道路交通振動 要請限度適合率	100%	100%	100%
	公害苦情相談件数	145件/年	78件/年	100件/年
(2) 化学物質 の監視	有害大気汚染物質 環境基準適合率 〔ベンゼン・トリクロロエチレン・ テトラクロロエチレン・ジクロロメタン〕	100%	100%	100%
	ダイオキシン類			
	水質 年平均値	2.0pg-TEQ/ℓ	—	1pg-TEQ/ℓ 以下
	河川底質	82pg-TEQ/g	—	150pg-TEQ/g 以下

※ 二酸化硫黄・二酸化窒素・浮遊粒子状物質・ダイオキシン類に係る目標値は国の環境基準に基づき設定しています。また、ダイオキシン類は2017年度（平成29年度）調査をもって終了しました。

基本目標 2



す 住みやすい、豊かな自然・多様な生物、共生できるまちの実現

基本施策	環境指標	当初値 2016年度 (平成28年度)	現状値 2021年度 (令和3年度)	目標値 2027年度 (令和9年度)
(1) 身近な自然 環境の保全	フジ棚 延長	1,714.7m	2,154.7m	2,154.7m
	地域のニーズに合わせて リニューアルした公園の利用頻度	42.1%	45.4%	49.1%
	河川・水路の清掃除草実施率	94.7%	86.4%	100%
(2) 自然の活 用の推進	緑の募金緑化事業によって 整備された生垣延長	828.3m	1,219.8m	1,500m
	多面的機能支払交付金対象 となっている農地面積	23,392a	46,922a	52,000a
(3) 生物多様 性の保全	市民環境調査 参加人数	—	81人/年	100人/年
	自然観察会 参加のべ人数	209人/年	257人/年	300人/年

基本目標 3



かんが べんりょう じぞくかのう じつげん
 考えよう、ごみの減量・リサイクル、持続可能なまちの実現

基本施策	環境指標	当初値 2016年度 (平成28年度)	現状値 2021年度 (令和3年度)	目標値 2027年度 (令和9年度)
(1) ごみの減量化・ 持続可能な資源利用の 推進	家庭系ごみ			
	年間排出量	58,437t/年	57,505t/年	52,398t/年
	一人一日当たりの量	677g/人・日	676g/人・日	633g/人・日
	事業系ごみ年間排出量	21,946t/年	20,805t/年	12,000t/年
	資源化率	21.8%	21.8%	27.0%
(2) 不法投棄の防止・ 環境美化活動の推進	不法投棄物の回収件数	234件/年	82件/年	200件/年
	一斉美化活動 参加人数	26,182人/年	0人/年	28,000人/年
(3) ごみの適正処理の推 進	年間最終処分量	3,787t/年	3,168t/年	3,100t/年

基本目標 4



べんり むだ ていたんそ じつげん
 便利さよりも、無駄をなくしたエコライフ、低炭素なまちの実現

基本施策	環境指標	当初値 2016年度 (平成28年度)	現状値 2021年度 (令和3年度)	目標値 2027年度 (令和9年度)
(1) エネルギーの管理 と高効率 設備の導 入による 省エネルギ ーの推進	エコライフ DAY の取組による 二酸化炭素削減量	12.6t-CO ₂ /年	—	25t-CO ₂ /年
	市民・事業者向け省エネルギー 講習会・セミナー 受講のべ人数	—	—	200人/年
	グリーン購入に関する 情報提供回数	—	1回/年	3回/年
	ライトダウンキャンペーン 参加事業者数	22社/年 ^{※1}	—	40社/年
	緑のカーテン 苗・種の配布数	200本(個)/年	2,220本(個)/年	500本(個)/年
(2) 再生可能エ ネルギー等 の導入推進	住宅用太陽光発電設備 導入件数	3,488件 ^{※2}	4,776件	6,000件
	市域全体の 太陽光発電設備導入容量	26,072kW ^{※2}	37,784kW	40,000kW
	公共施設の 再生可能エネルギー導入容量	2,163 kW	3,363kW	2,500 kW

※1 2017年度(平成29年度)における現状値であることを示す

※2 2017年度(平成29年度)2月末時点における現状値であることを示す



基本施策	環境指標	当初値 2016年度 (平成28年度)	現状値 2021年度 (令和3年度)	目標値 2027年度 (令和9年度)
(1) 環境意識	環境に関する各種取組の実施率の平均※1	45.6%	—	70.0%
	環境施策満足度の順位※2	46位/70位	27位/70位	15位以内/70位
	日頃から環境問題について意識している人の割合※3	78.1%	76.8%	90%
	日常的に環境に配慮した活動に取り組む事業者の割合※4	69.9%	—	80.0%
	環境啓発のための発表・展示の実施回数	1回/年	1回/年	3回/年
	かすかべ環境ネットワーク市民会員数	—	51人	100人
	かすかべ環境ネットワーク事業者会員数	—	28社	30社
(2) 環境教育	こどもエコクラブメンバー人数	718人	642人	1,000人
	小学生向け環境学習講座講師協力者数	17人	16人	24人
	市民向け環境学習講座受講のべ人数	147人/年	355人/年	420人/年

※1 第2次春日部市環境基本計画に関するアンケート調査 市民アンケート

※2 市民意識調査において、第2次春日部市総合振興計画における70施策に対する満足度を順位づけしたもの。

環境施策とは、「環境にやさしい持続可能な取組の推進（旧 環境保全・創造の推進）」を示す

※3 市民意識調査における設問

※4 第2次春日部市環境基本計画に関するアンケート調査 事業者アンケート

みんなで取り組む春日部市地球温暖化対策実行計画 ※地方公共団体実行計画(区域施策編)

環境指標	当初値 2013年度 (平成25年度)	現状値 2019年度 (令和元年度)	目標値 2027年度 (令和9年度)
市域における温室効果ガス排出量	1,082.0千t-CO ₂	883.6千t-CO ₂ (18.3%削減)	670.8千t-CO ₂ (38%削減)